

表紙

僕らは忘れない

1998年に始まった山村留学。
澤田夫妻は25年もの間、都市児童を迎え、
豊かな心を育んできました

TOPIC

みんなのひろば

南丹市の今がわかる!!
まちの話題満載

障がい者にやさしい社会へ

スポーツ大会やレクリエーションなど
多彩な交流情報が盛り沢山

南丹の食育

子どもたちのレシピを掲載
広がる健幸の輪

特集

“ほっと”安らぐまちづくり

南丹市タウンミーティング開催

- ・へき地の送迎保育サービスを確立して保育所の課題解消を考える。全国の先進地になれる。
- ・空き家と呼べない空き家が増えている。持ち主の申し出を待つだけでなく、行政も積極的に関わり、地域の担い手となる人に住んでほしい。
- ・山村留学の子どもとのコミュニケーションが、地元の子に非常に良い影響を与えてくれた、受入側の子どもたちの能力アップに繋がった。
- ・観光客など来ていただいても土日のバス便が少ない。来訪者への利便性向上のためバスのダイヤ問題の改善を。
- ・若者が住めるように、市営住宅の入居基準を見直したり、単身者住宅を用意する。



八木



- ・災害に対しての危機感が薄くなっている今日、地域が自ら自主防災組織を作る機運が出てくるような行政のサポートをお願いしたい。
- ・開発や市まち化を進め市民や法人を増やすなど、もっと市の収入財源を増やす手法や取り組みを検討をする必要があるのではないか。
- ・八木、園部の駅の近くに降りてすぐのところにはスタジアムの大きな施設を。若者が八木に来て、利用してくれるような運動施設があれば良いと思う。
- ・JRの本数が減ったのは非常に残念。特に市外の方からの南丹市に対する見方が厳しくなり、交通が不便となり京都市内へ出ていく学生が多くなった。引き続き JR への要望を。

まちづくり協働員でのディスカッションは今後も定期的に開催する予定です。

今回のタウンミーティングでいただいたご意見・ご提案は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。また、ご意見・ご提案の詳細は南丹市ホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。



南丹市のまちづくりを考
えるタウンミーティング

南丹市ホームページ



南丹市まちづくりを考えるタウンミーティング

令和5年2月に令和4年度南丹市まちづくりを考えるタウンミーティングを開催しました。

地域の課題の発見と将来に向けて持続可能な地域づくりを共に進めていく第一歩とすることを目的に実施し、従来の市政懇談会の手法を見直し、まちづくり協働委員と市長によるフリートーキング方式としました。

今回の「地域が抱える課題に地域住民自身でどう取り組んでいるのか」をテーマとしたミーティングでは、それぞれの地域性からくる課題がやまちづくりのヒントが多く提案されました。このページでは、ミーティングで提案された意見について一部紹介します。

園部

- ・ 駅と町が離れすぎており、駅を中心としたまちづくりができていない。そこが解決すればもっと有効な手段になってくる。
- ・ 小学校、中学校との連携、夢、園部ブロック、学校を核とした地域づくりをしたい。そして、若い人の定住、観光農業、まちおこしへつなげていきたい。
- ・ 学生のアイデアは必要。学生の集まる場所から地域と協働したまちづくりの仕組みをつくる。
- ・ 駅前を活用した活性化、ブランド化の発掘、人を呼び込む施策を行っていく必要がある。
- ・ 南丹市が全国的に有名になった事象、氷点下や最高気温など有名になったことを上手く利用して南丹市を知ってもらいたい。



日吉



- ・ 定住人口・交流人口を増やしていきたい。今までは郷土料理の復活、空き家対策、自然の山野草の再発見芸術散歩などに取り組んできた。
- ・ 過疎化や高齢化により単独の集落で完結できる時代ではなくなっているように感じる。集落連携を図っていくのがこれからの課題である。
- ・ 地域の農業と農産物のブランド化。売れる農産物を作っていこうとするが、やはり売り先、受け入れ先が一番の問題で課題である。
- ・ 農地が遊休荒廃化してきている。作業に関わってくれる人たちをどのように取り込んでいけるのが課題。
- ・ 集落支援員の協力や取り組みを通して地域にまとまりがでてきた。
- ・ 車を登録してもらい、利用者と支援者を繋げる移動支援に取り組んでいる。

令和5年度当初予算

会計名		令和5年度	令和4年度	増減率
一般会計		251億5,000万円	228億4,500万円	10.1% 増
特別会計		89億9,133万円	89億6,056万円	0.3% 増
内 訳	国民健康保険事業	40億5,870万円	40億5,210万円	0.2% 増
	(事業勘定)	38億3,160万円	38億1,830万円	0.3% 増
	(直営診療施設勘定)	2億2,710万円	2億3,380万円	2.9% 減
	介護保険事業	43億3,110万円	42億6,550万円	1.5% 増
	市営バス運行事業	0円	6,250万円	皆減
	土地取得事業	8万円	16万円	49.4% 減
	後期高齢者医療事業	6億145万円	5億8,030万円	3.6% 増
公営企業会計		61億7,435万円	61億2,249万円	0.8% 増
内 訳	水道事業会計	18億5,132万円	17億9,822万円	3.0% 増
	下水道事業会計	43億2,303万円	43億2,427万円	0.0%
合 計		403億1,568万円	379億2,805万円	6.3% 増

※金額および増減率は端数調整しています。

南丹市をもっと元気に！
地域の個性（特徴）を生かし希望あるまちづくり

◆一般会計歳入予算

市税	40億4,963万円	1	子育て環境の充実、若者定住のまちづくり
地方譲与税	3億751万円	2	農林業振興・企業誘致による地域や産業の活性化によるまちづくり
地方交付税	93億円	3	安心な暮らしを守る福祉や防災のまちづくり
国庫支出金・府支出金	40億4,086万円	4	地域の個性を生かしたまちづくり
繰入金	20億5,163万円	5	教育・文化と人権尊重のまちづくり
繰越金	1億円		
市債	32億9,390万円	プラス1	行財政改革に基づくまちづくり

【基本方針】
令和5年度は、「定住促進」を中心に据えながら、「5つの柱プラス1」を2期目の方針として次の重点事項を推進していきます。

児童福祉施設整備事業

2億701万4千円

放課後児童クラブの開設場所について、可能な限り通学校の敷地内に開設することとした市の基本方針を踏まえ、八木西小学校隣接地に八木せきれい西放課後児童クラブを新設する。

小学校跡施設活用推進事業

(神吉自治会館建設工事)

1億631万円

(内1億435万円)

小学校跡施設の利活用を推進するために必要な整備等を行う。

神吉小学校跡施設、神吉地区の自治振興会館等の機能を集約し、地域活性化の拠点となる新施設の建築を行う。

駅関連施設管理運営費(園部駅周辺維持管理・整備事業)

1億1,660万6千円

(内6,590万円)

老朽化した園部駅東口エレベーターの更新工事や園部駅西口広場の再整備に向けた測量調査設計業務を行う。

企業支援事業

(森林サービスマスター推進事業)

2,451万7千円

(内398万円)

林野庁がすすめる森林の多目的な活用の一環として、「森林サービスマスター」が全国的に展開されている。本市においても森林の有効活用による山村振興を図るとともに、明治国際医療大学及び企業等と連携した新たな産業の創出や観光商品の開発など、南丹市の特徴を生かした南丹市ならではの森林サービスマスター産業をモデル的に展開する。

出産子育て応援交付金事業

2,468万9千円

妊婦や0歳から2歳までの低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じて必要な支援につながる伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る。

防災施設整備事業

(防災行政無線整備事業)

1億2,254万4千円

(内1億1,550万円)

新庁舎整備と併せて新たに情報技術の高度化に対応した防災行政無線機器を導入する。

南丹市魅力創出事業

(シティプロモーション事業)

4,726万5千円

(内3,614万8千円)

令和4年4月に南丹市内で口ケを行った映画「唄う六人の女」の制作をきっかけに市の魅力発信の強化、観光・商工振興、地域活性化を目的として、公開前上映会をはじめ、映画を活用した各種シティプロモーション事業を実施する。

環境計画推進事業

2,185万8千円

(内1,297万2千円)

国では、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルを表明されている。本市でも第2次南丹市環境基本計画(区域施策編)において同一の目標を掲げており、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取

り組みを推進する。

安全・安心な学校教育環境整備事業(中学校)

4億3,510万3千円

老朽化が著しい殿田中学校及び美山中学校のリフレッシュと長寿命化を図る工事を実施する。

庁舎等施設整備事業

15億2,981万8千円

市役所の窓口機能を集約し、災害時の司令塔となる防災機能を有する必要最小限の規模の新庁舎を建設する。あわせて、既存の1・2号庁舎を耐震改修などにより活用を図る。

八木町西田の国道477号バイパスの「夢きぼう橋」が完成し、3月16日に渡り初め会が行われました。

この橋は八木東小学校の児童らが命名しました。式典では同小学校の児童21人や府や市の関係者らが集い、完成したばかりの橋を歩いて渡し、橋の完成を祝いました。

なお、同日の午後2時から一般車両も通行可能となり、今後は車両の安全面や京都市縦貫道へのアクセス改善が期待されます。



▲完成したばかりの橋を渡る児童ら

(3/16) 国道477号夢きぼう橋渡り初め会

「安全性の向上やアクセス改善に期待」



▲商工会寺田会長の「がんばろう」の掛け声に応える出席者ら

2月25日、南丹市国際交流会館でJR山陰本線減便措置の早期復元・西日本JRバス園福線の存続総決起集会が開催されました。

この集会は、人口減少にともなう利用客の減、そこに追い打ちをかけるよう蔓延したコロナウイルスの影響によりJR山陰本線の減便および南丹市から福知山市を結ぶ路線バスの運行が困難といった現状を受け、開催されたもので、南丹市・亀岡市・京丹波町の首長をはじめ、国会議員や府議会議員、地元住民ら約150人が出席しました。

集会では、山陰本線の本数を元に戻すことや、園福線の存続を強く要望するとして決議を採択され、目的の達成に向け、連帯を強めました。

(2/25) JR山陰本線減便措置の早期復元・西日本JRバス園福線の存続 総決起集会

「住みよいまちを目指し連帯を強める」

「山村留学25年の歴史に幕下ろす」



▲式典参加者らで記念撮影

3月26日、旧知井小学校で南丹市美山山村留学閉所式が行われました。

山村留学は都市児童を対象に自然環境への知識を深めることと山村児童や地元住民との交流を図ることを目的に1988年から活動が始まり、令和4年度をもって事業を終了することとなりました。

式では関係者や卒業した留学生らが集い、活動終了を名残惜しみました。また、長年活動を支えてこられた澤田夫妻に西村市長から感謝状が手渡されました。

(3/26) 南丹市美山山村留学閉所式



▲西村市長(左)、岡山代表取締役(右)

「企業版ふるさと納税に感謝状」

3/13 企業版ふるさと納税の感謝状贈呈

3月13日、企業版ふるさと納税として寄附をいただいた岡山電設株式会社(綾部市)に対し、に感謝状を贈呈しました。

電気設備工事会社として創業された同社は、10年以上前から小水発電事業に力を入れられており、将来にわたって安定的に水を確保していくためには、豊かな森を守り、育てていくことが大切であるとの思いから、寄附金は森林保全関連事業の財源の一部に活用しました。

「災害時の緊急対応に協力」

3/24 南丹市建設業協会感謝状贈呈

3月24日、南丹市役所で南丹市建設業協会に対し、感謝状を贈呈しました。

南丹市建設業協会においては、令和5年1月24日からの大雪に際し、市道の緊急除雪作業を実施していただき、児童・生徒らの通学路の安全確保やバス路線などの道路交通網の早期復旧に貢献いただきました。



▲西村市長(左)、中川会長(右)

「充実した学校・園環境を目指す」

3/7 南丹市教育委員会「南丹市学校・園教職員表彰」表彰式



▲教育長(中央)と受賞者ら

3月7日に南丹市国際交流会館で南丹市教育委員会「南丹市学校・園教職員表彰」表彰式を開催しました。

これは日々の授業改善に熱心に取り組む、優れた教育実践を行うなど学校園組織の活性化に寄与した園教職員を表彰するもので、今年度は6名が受賞されました。

表彰式では各受賞者から論文の発表がありました。

今後も学校・園全体の教育力の向上が期待されます。

「狩猟マナー向上で安全・安心へ」

3/7 有害鳥獣捕獲(わな)に係るマナー向上講習会

3月7日に南丹市国際交流会館で南丹市猟友会の会員を対象に有害鳥獣捕獲(わな)に係るマナー向上講習会が開催されました。

講習会では、南丹広域振興局の担当者から、過去の事例を参考にしたマナー向上のための取り組みの紹介や、南丹市猟友会の西村会長からの取組方針の説明がありました。

講習会終了後には、受講者に対し終了証が交付されました。



▲説明を行う西村会長

障がいのある方やその家族が加入されている

当事者団体ってどんなところ？

こちらに掲載する5つの当事者団体は、障がいのある方やその保護者などを会員として、だれもが安心して暮らせる地域づくりをめざして活動されている団体です。会員のみなさんは、それぞれに悩みを抱えながら、仲間とともに障がいと向き合い、いきいきと活動されています。こうした団体の活動を通じて、これまでたくさんの方が悩みを乗り越え、また、いろいろな制度やしゅみがか実現してきました。同じ悩みをもつ方々が、お互いにわかちあい、学びあい、支えあうことで、日々の暮らしがより充実したものとなるように、南丹市では当事者団体への加入をすすめています。

多彩な交流事業と一緒に参加しませんか

京都府聴覚障害者協会 口丹ブロック船井支部

私たちは、聴覚に障がいのある方の社会的自立を進める運動をはじめ、人権の確立、社会への全面参加と平等の実現を目的として活動しています。

会員の要望をまとめて運動方針を示し、府の委託事業をはじめ、聴覚に障がいのある方に対する情報保障や知識向上のための研修会、気軽に参加できるスポーツ大会やレクリエーション活動など、多彩な文化活動を行っています。

また、手話通訳者の育成や手話の普及など、社会参加と平等を促進する活動や世界のろうあ者との交流なども幅広く行っています。

ぜひ、私たちの会へ入会いただき、一緒に活動しましょう。

◆主な活動

- ◎新年会（1月）
- ◎定期総会（2月）

◎手話劇発表会（12月）

◎各部の活動：月1〜2回程度（フォーラム・講演・社会見学など）

※各部：青年部・女性部・高齢部・体育部・文化部・手話対策部

◆対象者

南丹市・京丹波町にお住まいの聴覚障がいのある方（18歳以上）

◆年会費

◎個人年会費	府協会	12、500円
	支部	1、000円
◎夫婦年会費	府協会	23、500円
	支部	1、500円

◆連絡窓口

京都府聴覚障害者協会事務局
電話 075（432）7705
FAX 075（841）8433

『見えない方』『見えにくい方』お友達になりませんか

京都府視覚障害者協会 南丹京丹波支部

私たちは、視覚障がい者の団体です。見えない、見えにくいといった視覚に障がいのある方が、地域で安心して暮らせるよう『独りぼっちの視覚障がい者をなくそう』という主旨のもとで活動しています。同じ障がいを持つ会員さんと、支援していただける賛助会員さん、ガイドヘルパーさんと一緒に、南丹市役所社会福祉課、社会福祉協議会をはじめ行政のご協力をいただき、京都府の委託を受け、月に1〜2回の活動を行っています。

視覚障がい者用の日常生活用具・IT機器の講習会、情報交換や様々な不安や悩みを聞いてもらうなど、和やかな雰囲気の中で、毎回の出会いを楽しみにしています。

また、健康教室、脳トレ、料理教室、お菓子作り、手作り教室、音楽鑑賞など、幅広く心豊かな生活を目指して、様々な取り組みをしています。季節ごとに、春はお花見、夏は山間学習、秋は紅葉、冬はクリスマスや新年会と、花の香り、川のせせらぎ、木々や落ち葉の音を体で感

じ、季節を謳歌しています。

しかしながら、個人情報の壁があり、このような会を必要としている方を把握することができず、お勧めできないのが現状であり、今後の課題でもあります。

独りじゃないです！一緒に繋がりたいお友達になりましょう！



掲載写真：山間学習において

◆対象者

南丹市、京丹波町にお住まいの視覚障がいのある方とご家族・賛助会員

◆年会費

◎一般会員 2,000円

◎ご家族・賛助会員 1,000円

◆連絡先

支部長 高屋千津子

電話 0771(62)2722

父母の会での活動を通して交流しませんか

口丹心身障害児者 父母の会連合会

私たちは、障がい児・者の権利を守ることを目的とする、南丹市内の旧町(園部町・八木町・日吉町・美山町)の親の会と京丹波町の親の会の連合会です。平成18年の町村合併を機に、旧「船井郡心身障害児者父母の会」と旧「美山町手をつなぐ親の会」が合併して発足しました。各町単位の親の会の活動(障がい児・者への理解を広げ、親睦を深め、安心して生活できる地域づくりをめざして交流・学習)を中心とし、連合会事務局が各会の活動をとりまとめられています。

◆主な活動

研修会、体験事業、交流会、レクリエーション、クリスマス会など

◆対象者

南丹市・京丹波町にお住まいの障がい児・者とそのご家族

◆連絡窓口

事務局 河方有規

電話 0771(63)5540

090(8572)1872

障がい者にやさしい社会をめざすための

活動と一緒にしませんか

南丹市精神保健福祉

推進家族会 南丹つばみ会

私たちは、南丹市で暮らす、こころの病気を抱える家族をもつ当事者の団体です。

活動目的として、私たち自身のこころの安心と生活の安定を目指しており、障がい者にやさしい、障がい者が未来への希望と生きがいを持てる南丹市になるための取り組みをしたいと思います。

私たち会員には、精神が病んだ状態の家族がいます。これは何も社会の責任ではなく、本人の責任でもなく、家族の責任でもありません。

会の交流会では、A会員の家族は「成人後、突然、突拍子もないような行動に始まり、就労も続かず、入院の繰り返し。服薬拒否、対人拒否。今も家から出られない」。B会員は、「厳しい家族に耐えられない気持ちから妄想が始まり、入院して独房のような保護室で拘束。結婚、作業所に通所している」。C会員は「居所の移動から警察も巻き込む異様な言動、電話をかけまくる。入院し、まるで

独房のような保護室」。D会員は、「学校でのいじめ、学級崩壊、不登校、家庭内暴力。今は一人暮らし」。など、耳を覆いたくなるような言葉が当事者や当事者家族から発信があります。このような当事者・家族の思いや叫びは本当に枚挙にいとまがありません。

一年365日、より平穩に、より状況が好転するように願っています。が、現実はなかなか許してくれません。同じ思いの方、支援をいただける方の入会を心から願います。

◆主な活動

- ◎会員同士の交流やレクリエーション
- ◎他の団体との交流や施設見学
- ◎家族のメンタルや福祉制度についての学習
- ◎障がい者への理解や、障がい者にやさしい社会をつくるための講演会
- ◎市や社会福祉協議会など、公的関係機関への要望や提言活動
- ◎レクリエーション（会食、グラウンドゴルフ、ボウリングなど年3回程度）
- ◎他団体交流や施設見学（年3回程度）
- ◎京都府家族会への事業参加（学習会、

レクリエーション）

◎南丹市の市民を含む講演会（年1回）

◆年間行事

- ◎支部ごとの定例会（ほぼ隔月）
- ◎全会員が集まり、現状や悩み、将来のことを話し合い、学習する会（年1回）

◆対象者

- ◎南丹市にお住まいの精神に障がいのある方やそのご家族
- ◎障がい福祉に関心のある市民の方

◆年会費

園部・八木・美山の方 無料
日吉の方 500円

◆連絡窓口

【園部・八木の方】
小林 義博 090(8826)8660
【日吉の方】
宇野 弘一 080(3777)9575
【美山の方】
木戸 吉行 090(4289)8739

スポーツ交流などを通して一緒に活動しませんか

南丹市身体障害者福祉会

私たち南丹市身体障害者福祉会は、身体障害者手帳の交付を受けた方々によって成り立ち、身体の障がいのみならずそれによる社会的な障害に直面しながらもお互いに悩みを分かち合い、相互の親睦と協力を図り、個人の厚生と福祉の向上に、また、社会の一員として社会福祉に貢献することを目的に、会則をもって組織し活動しています。

運営は会員からの会費によって行っていますが、市行政や社会福祉協議会からも支援と協力をいただきながら活動しています。

私たちは障がいの状態によっては、内にもりがちになり、ややもすると孤立してしまいます。そうならないように、意見交流や懇談、集會行事、スポーツ大会、旅行等を行って、会員相互のつながりを深め協力関係を育んでいます。

障がいによる個々の生活のしづらさ、社会の不自由さなど一人ひとりの思いをみんなの声として、積極的に社会に働きかけ住

みよい社会の実現のために、ひとりでも多くのお力添えをいただきたいと思っておりますので、ぜひとも私たちの会への入会をお願いいたします。

◆主な活動

- ◎支部ごとの役員会
- ◎スポーツ大会、練習会（フライングディスク・卓球バレー・ボッチャ・グラウンドゴルフ）
- ◎親睦旅行
- ◎レクリエーション（食事会・勉強会）

◆対象者

南丹市にお住まいの身体障がいのある方

◆年会費

- ◎園部支部 1,500円
- ◎八木支部 800円
- ◎日吉支部 1,300円
- ◎美山支部 1,000円

◆連絡窓口

事務局 南丹市役所社会福祉課
電話 0771(68)0007



掲載写真：スポーツレクリエーションフェスティバル



令和4年度南丹市表彰式(スポーツ・文化賞)

2月18日、スポーツ・文化表彰式および「きらり・本のことば」おすすめ本コンクール表彰式が南丹市園部文化会館大ホールで開催されました。

今回は、令和4年中に優れた成績を収めた団体・個人が6分野の表彰を受けられました。

■賞の対象

◇優秀スポーツ賞・スポーツ賞

スポーツの分野で特に優秀な成績を収められた個人または団体を表彰

◇優秀文化賞・文化賞

文化・芸術の分野で特に優秀な成績を収められた個人または団体を表彰

◇翔け賞

小学校在学中に、特に優秀な成績を収められた個人または団体を表彰

◇功労賞

優秀な選手などの育成、指導において、特に功績があった個人または団体を表彰

賞	受賞者数
優秀スポーツ賞	団体：2 個人：27
スポーツ賞	団体：3 個人：17
優秀文化賞	団体：3 個人：7
文化賞	団体：3 個人：8
翔け賞	個人：36
功労賞	個人：2

優秀スポーツ賞

《団体》

- 〔一般の部〕
- ・南丹市身体障害者福祉会
- ・明治国際医療大学女子柔道部

《個人》

〔一般の部〕

- ・坂本 靖博(南丹市バレーボール協会)
- ・山中 卓
- ・笹野 純花
- ・藤原 翔真(明治国際医療大学陸上競技部)
- ・中田 アドリアン 勝(明治国際医療大学陸上競技部)

表彰式の様子



- ・奥村 夏生(明治国際医療大学陸上競技部)
- ・宮城 杏優菜(明治国際医療大学女子柔道部)
- ・川口 鈴王(明治国際医療大学女子柔道部)
- ・松浦 ゆうき(明治国際医療大学女子柔道部)
- ・足達 実佳(明治国際医療大学女子柔道部)
- ・三谷 頼子(明治国際医療大学女子柔道部)
- ・野崎 偉万里(明治国際医療大学女子柔道部)

【高校生の部】

- ・前田 亜海(奈良文化高等学校)
- ・小島 耀雅(亀岡高等学校)
- ・森島 佐和(園部高等学校)
- ・井上 佳鈴(園部高等学校)
- ・高橋 慎太郎(農芸高等学校)
- ・野口 聖斗(農芸高等学校)
- ・一柳 真生(農芸高等学校)
- ・李 慶樹(農芸高等学校)
- ・吉永 海陸(農芸高等学校)
- ・早崎 颯太(北桑田高等学校)
- ・岡本 美咲(北桑田高等学校)
- ・橋本 涼平(北桑田高等学校美山分校)
- ・野林 和希(北桑田高等学校美山分校)

- 【中学生の部】
- ・笠川 佑希乃(園部中学校)



- ・久保田 美優(園部中学校)

スポーツ賞

《団体》

- 【一般の部】
- ・南丹市選抜成年女子(バレーボール競技)
- ・明治国際医療大学剣道部

【中学生の部】

- ・南丹市立園部中学校野球部

《個人》

- 【一般の部】
- ・南條 清男
- ・佐々木まさ子(南丹グラウンド・ゴルフ協会 八木町)
- ・中西 利音(明治国際医療大学)

【高校生の部】

- ・大前 壮太郎(亀岡高等学校)
- ・富田 小日奈(園部高等学校)
- ・鎌田 胡桃(園部高等学校)
- ・鳥淵 永治(園部高等学校)
- ・須藤 匠(園部高等学校)
- ・上野 史弥(園部高等学校)
- ・朝倉 滉己(北桑田高等学校)
- ・竹内 皓星(園部高等学校)
- ・東山 美雷(園部高等学校)
- ・川勝 直哉(北桑田高等学校美山分校)
- ・米田 光(北桑田高等学校美山分校)
- ・中川 雄喜(北桑田高等学校美山分校)

《個人》

- 【中学生の部】
- ・清水 佳夢(園部中学校)
- ・八木 成美(園部中学校)

優秀文化賞

《団体》

- ・南丹市立園部中学校野球部

【高校生の部】

- ・農芸高等学校 動物資源・畜産流通コース
- ・農芸高等学校 草花コース

【中学生の部】

- ・園部中学校 吹奏楽部

《個人》

- 【一般の部】
- ・小林 あすき

【高校生の部】

- ・加藤 由奈(亀岡高等学校)
- ・佐々谷 蓮太郎(農芸高等学校)
- ・加藤 佐和子(農芸高等学校)
- ・原 大河(農芸高等学校)
- ・平島 健陽(農芸高等学校)

【中学生の部】

- ・川勝 梨世(園部中学校)

文化賞

《団体》

- 【高校生の部】
- ・農芸高等学校 造園コース
- ・農芸高等学校 農業土木コース
- ・農芸高等学校 野菜コース

《個人》

- 【高校生の部】
- ・川戸 和(亀岡高等学校)

- ・萩田 千絢(亀岡高等学校)
- ・山口 璃陽(農芸高等学校)
- ・岸本 竣(農芸高等学校)

〔中学生の部〕

- ・八木 梓緒音(園部中学校)
- ・久保田 美優(園部中学校)
- ・石田 美羽子(美山中学校)
- ・安野 藍里(美山中学校)

翔け賞(スポーツの部)

《個人》

- ・一海 凧(園部第二小学校)
- ・井野 礼滋(園部第二小学校)
- ・國府 ほたる(八木西小学校)
- ・浅野 颯介(八木西小学校)
- ・尾迫 実(八木西小学校)
- ・寺町 咲希(八木西小学校)
- ・人見 千尋(八木西小学校)
- ・松本 祥大(八木西小学校)
- ・山田 愛梨(八木西小学校)
- ・山田 愛嵐(八木西小学校)
- ・岡花 奏汰(八木西小学校)
- ・大沢 拓斗(殿田小学校)
- ・湯浅 翔空(殿田小学校)
- ・山名 瑠星(胡麻郷小学校)
- ・藏 心遥(胡麻郷小学校)
- ・大石 雪乃(胡麻郷小学校)
- ・塩貝 七海(胡麻郷小学校)
- ・岩城 帆奈(胡麻郷小学校)
- ・金林 あおい(胡麻郷小学校)

- ・金谷 路(美山小学校)

翔け賞(文化の部)

《個人》

- ・林 知里(園部小学校)



- ・湯浅 琥珀(園部第二小学校)
- ・内藤 果帆(園部第二小学校)



- ・明田 慎矢(八木西小学校)
- ・福島 瑛美莉(八木西小学校)
- ・林 稚奈(八木西小学校)
- ・中川 凜太郎(八木西小学校)
- ・田中 琳太郎(八木西小学校)
- ・八木 健史郎(八木西小学校)
- ・林 望歩(八木西小学校)

- ・吉見 優那(八木西小学校)
- ・松村 哲矢(殿田小学校)
- ・大沢 紗沙羅(殿田小学校)
- ・大石 龍亮(胡麻郷小学校)
- ・谷口 陽飛(胡麻郷小学校)
- ・木村 優香(美山小学校)

功労賞

《個人》

- ・橋本 貴弘(南丹市軟式少年野球連盟)
- ・米澤 ヒデコ(八木町文化協会く
れなる句会)

きらり本の言葉
おすすめ本コンクール

《市長賞》

〔小学生部門〕

- ・小畠 うた(殿田小学校)

〔中学生部門〕

- ・塩内 京(園部中学校)

《教育長賞》

〔小学生部門〕

- ・島崎 美結(園部第二小学校)

〔中学生部門〕

- ・奥村 文香(美山中学校)



日本赤十字社「有功会」をご存知ですか？

■赤十字とは

赤十字は、アンリ・デュナン（スイス人・第一回ノーベル平和賞受賞者）が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界一九二の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを活かして活動する組織です。日本赤十字社はそのうちの「一社」です。

日本赤十字社では、

『人間を救うのは、人間だ。』

をスローガンに、災害救護や地域医療、血液事業（献血等）など、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。

近年、日本でも大規模災害が頻発していますが、皆さんも被災地で活動する「赤十字」の姿を目にしたことがあるのではないのでしょうか。

■支援団体「有功会」

日本赤十字社の活動は、約一一



▲令和4年度日赤有功会南丹市地区支会総会の様子

■有功会南丹市地区支会

南丹市でも「有功会南丹市地区支

会」は、四万人ものボランティアや奉仕団の力によって、また、赤十字の活動に賛同いただいた会員や寄付者から寄せられる資金によって支えられています。

活動を支援するため多額の資金を寄付された方々で組織された支援団体が「有功会」です。



▲令和4年度総会での講演の様子

会」を組織し活動しています。

被災地へ義援金を送ったり、赤十字の活動に賛同してくださる方の募集をしたりするなど精力的に活動し、日本赤十字社の活動支援を行っています。

また、毎年総会で講演を企画し、知識の向上と会員の交流を図っています。令和4年度は京都府赤十字血液センターの講師による講演を実施し、献血に対する知識を深めました。

活動支援を
続けていくために

南丹市地区支会では、日本赤十字社の活動支援のため精力的に活動していますが、高齢化に伴い会員数が減少しています。会員の減少は活動の縮小につながる恐れがあります。一人でも多くの命や苦しんでいる人を救うためには、皆さんのご協力が必要です。

日本赤十字社の活動に賛同いただき、「自分も協力したい」と思っていただけの方がいらっしやいましたら、是非、有功会の仲間になってください。

関心のある方は、左記窓口へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

有功会南丹市地区支会事務局 福祉相談課

TEL (0771) 68-0023

南丹市営バス・ぐるりんバスに系統番号を附番します。

令和5年4月より、市内を走る路線バスの利便性向上を目的として、南丹市営バス及びぐるりんバスの各路線に系統番号を附番します。

各バス車両に系統番号や路線名、始点終点のバス停名を記載したシートを張り付けるとともに、時刻表でも番号を表示し、利用者にわかりやすいバス運行を目指します。

今後も、誰もが利用しやすい路線バスとなるよう、利用者の皆さまの利便性向上に努めてまいります。

南丹市営バス	ぐるりんバス	
胡麻線 G17 G18	西本梅スクール・癒しの森線 10	S…園部駅経由
世木線 H14 H15	市街地循環線 S21 S22 S23 S24	H…日吉駅経由
志和賀線 H25	摩気・園部東部線 S30 S33 S34	G…胡麻駅経由
日吉ダム線 H16	新光悦村線 S51 S52 S55	W…和知駅経由
京北線 K60 K70 K80		C…美山町知井地域
知井線 C1		K…京北町地域
芦生・佐々里線 C2		
知見線 C3		
河内谷線 C4		
美山園部線 S60 H60 H61 H62		
大野線 W37		
鶴ヶ岡線 68		
福居線 69		



地域おこし協力隊レポート



-27-

こんにちは。南丹市地域おこし協力隊7期生の鈴木健司です。早いもので、協力隊に就任してから1年半が経過しました。

昨年は初めての米づくりにチャレンジしました。ありがたいことに、地域の多くの方々にサポートいただき、無事にとってもおいしいお米を収穫することができました。自分たちで初めてつくったお米がおいし過ぎて、食べ過ぎてしまうので絶賛増量中です。

今年も、米づくりシーズンが近づいてきましたので準備から頑張っていきたいと思えます。先日は、農家として、消防団員として岸焼にも参加し、今までのことのない貴重な体験ができました。

農業は、水稲栽培だけでなく、ブルーベリー、ラズベリーやイチジクなどの果樹栽培もしています。また、空き家バンクを利用して購入した古民家は家族で改修にもチャレンジしています。

家族での古民家DIY改修を軸に、農業にもチャレンジしていく様子などはYouTubeで発信しています。就任当初は約1,000人だったチャンネル登録者

ですが、現在では約13,000人と大変多くの方に登録いただいています。チャンネル全体の再生回数は310万回となりました。私の動画で南丹市を初めて知り、興味を湧いたと言ってくださる方もいらっしゃると思います。田舎移住・古民家・新規就農というものが、現在注目されているということがよく分かります。さらにありがたいことに、新聞にも2回取り上げていただきました。

1人でも多くの方が移住や農業に興味を持っていただけたらという思いを持ってYouTubeで発信しています。今後ともどうぞよろしく願います。

YouTubeチャンネル
KENZDIY KYOTO KYOTO

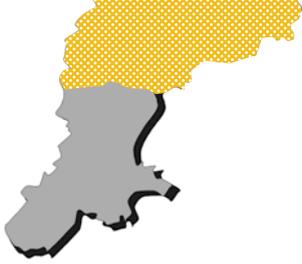


問い合わせ先 鈴木隊員

メール keirentouz@gmail.com

南丹市景観計画について

景観計画区域
南丹市美山町地域



南丹市では平成26年4月1日から、景観条例を施行しています。

この条例は、市内の地域に景観計画区域を定め、建築物や工作物の新築や移転、屋根や外壁の塗り替えなどの行為に対して、形状や色彩に一定の基準を設け、南丹市のもつ素晴らしい景観を守っていくための条例です。

南丹市では現在、美山町地域を景観計画区域に定めています。下記の概要もご覧いただき、景観に対してご理解とご協力をお願いします。

また、地域の景観を守るための市民活動の情報がありましたら、地域振興課までお知らせください。

景観の小窓



～紹介編～

南丹市景観条例 ～基本理念～

「市民も来訪者も“ほっ”とできる癒しのまち 南丹市」

住む人が「ここに住んで良かった」「いつまでも住み続けたい」と愛着と誇りを持ち、訪れた人々が「また訪れたい」「ここに住んでみたい」と感じる魅力ある景観の形成を目指します。

※景観計画の対象区域：美山町全域

届出の対象となる行為

屋根や壁の塗替え等
外観を変更することとなる修繕
若しくは模様替えまたは色彩の変更
変更する部分の面積が
正面から見て10㎡を超えるもの

建築物
新築・増築・改築・移転

全て届出が必要

工作物
新築・増築・改築・移転・
色の塗替えなど
高さが8mを超えるもの又は
築造面積が8㎡を超えるもの

※土地の形質変更や屋外での物件堆積も、一定の基準を超えると届出が必要です。

※景観形成基準などの詳細につきましては市ホームページや景観計画のパンフレットをご覧ください。



【南丹市景観計画についてのお問い合わせ先】

南丹市役所 地域振興部 地域振興課 TEL:0771-68-0019

南丹市 HP 南丹市景観計画の策定について



みんなで描こう

協働のキャンバス 69

「集落活性化の取組」活動報告会

本号では、令和5年3月4日に市内で集落活性化の取組をされている4団体に活動報告をしていただいた内容を紹介します。

当日は2部構成で開催し、1部では令和4年度まで集落支援事業に取り組まれていた美山町岩江戸区と現在も取り組まれている日吉町殿田区、2部では、令和4年度、内閣総理大臣賞を受賞された美山町下区と園部町天引区にそれぞれ活動を始めたきっかけや活動する中で困ったこと、どのように活動を継続していくのか等、地域の実情も交えながら報告していただきました。

50名を超える参加者が集い、先



▲当日の様子

進的な取組内容に皆さん聞き入っておられました。

美山町岩江戸区は、年々人口が減少し、歴史的遺構・文献などを後世に伝えられない状況に陥っていたため、集落支援事業補助金を活用し、松山城跡の整備と大般若経巻子本(京都府暫定登録文化財)、八朔祭りの音頭台の修復に取り組まれた内容を紹介されました。

今後地域活性化のために事業を進めると意気込みを語られました。



▲美山町岩江戸区の発表

日吉町殿田区は、集落支援事業補助金を活用し、令和2年度に計画を策定、令和3年度から事業を始められました。

「殿田をもっと元気で楽しく！殿田の未来を考えるアンケート」と題して区民に問いかけた結果、9つのプロジェクトを推進することにな

「地域活性化活動の紹介」南丹市編

り、他団体との連携や地元小学生との交流の内容を紹介されました。



▲日吉町殿田区の発表

美山町下区は、これまでの地域活性化における活動内容が認められ、内閣総理大臣賞をはじめ、令和4年度に3つの賞を受賞されました。

「長寿を目指す里・下」をテーマに農業の発展や食文化の継承、伝統文化の維持や交流事業の発展など4つのチームについて、これまでの活動内容を紹介していただきました。

今後この取組を継続し、集落内の絆を深めるとともに、地域外との交流も継続していきたいと語られました。



▲美山町下区の発表



園部町天引区は、地域の活力を取り戻そうと10年前に話し合いを始められました。会議のルールを独自で定め、地域の未来を描いたマップの作成、ほたるコンサートやむくむく市など、地域住民の活力を掘り起こす活動を継続されました。その結果、令和4年度に内閣総理大臣賞をはじめとする各種賞を受賞されました。今後、移住者を迎えるための空き家の整備や伝統文化の継承など、地域外からたくさんの人に来ていただくような新しい取組に挑戦されると語られました。



▲園部町天引区の発表

地域でお困りのことがあれば、集落支援員にお声がけください。

問い合わせ先
集落支援員室

Tel (0771) 68-0108

南丹市観光協会連絡会だより

第5回南丹市フォトコンテスト入賞作品13点です。
 応募のあった208作品から、選ばれた力作をご覧ください。また、南丹市内外での巡回展示を行います。詳しい予定は市のホームページにてご案内いたします。



■京都府知事賞 撮影地 美山町田歌
 「久しぶりに楽しいなあ」 白木文枝(69)



■京都新聞賞 撮影地 八木文寛池前
 「シンメトリー」 廣瀬たまき(61)

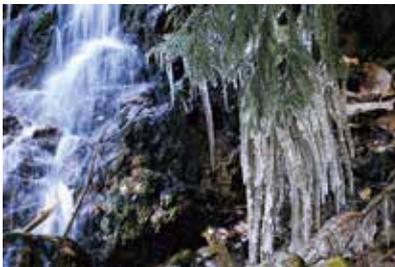


■(左)京都府観光連盟会長賞 撮影地 美山町佐々里峠
 「清流一輪」 小倉正紀(80)

■(中)南丹市長賞 撮影地 八木町氷所
 「雲の海」 城田祥男(79)



■(右)南丹市商工会会長賞
 撮影地 八木町紅葉峠展望台
 「紅葉峠の夜明け」
 河本善信(74)



■南丹市観光協会連絡会代表賞
 撮影地 園部町りり溪
 「-5℃の世界」 木崎誠(63)



■地域賞(園部)
 撮影地 園部町りり溪
 「溪流のしらべ」 寺尾幹男(75)



■地域賞(八木)
 撮影地 八木町氷室
 「最後の的」 梅原隆(74)



■地域賞(美山)
 撮影地 美山町大野
 「白銀の誓い」 下野純一(58)



■地域賞(日吉)
 撮影地 日吉町日吉ダム
 「日吉ダム秋のキャンプサイド」 山下文行(75)



■入賞ポर्टレート
 撮影地 日吉町
 「ないしょばなし」 新船綾美(32)



■(左)入賞(まつり&イベント)
 撮影地 美山町北宮ノ本
 「新春の舞」 井上敏和(74)



■(右)入賞(風景)
 撮影地 八木町紅葉峠展望台
 「紅葉峠の展望」 山田真澄(44)

食は、

まじゅくり、まじゅくり

まじゅくり



—59—

野菜を食べて元気いっぱい！

子どもたちのレシピが

広げる健康の輪

2・3月号に引き続き、南丹市健康・食育レシピコンテストで入賞された作品を紹介します。

「野菜や米を使ったレシピ」では、6作品が入賞されました。どの作品も野菜がたっぷりと使われており、味だけでなく、彩りや食感、レシピ名も工夫された作品となっていました。

レシピが地域のサロンに登場

南丹市食生活改善推進員協議会長賞を受賞した「夏野菜たっぷり!ピザ風ふわふわお好み焼き」が地域のサロンで振る舞われました。準備をされた食生活改善推進員の小崎フサエさんに話を伺うと、「おいしくてよかったです。」と参加者から好評だったそうです。

小崎さんにはレシピコンテストの審査員もお世話になりました。「約400人も応募があり、子どもたちの食への関心の高さが感じられた。子どもの頃に覚えた味



は、ずっと覚えているもの。大人になっても、工夫して調理できる力を身につけてほしい。」と話されています。



▲小崎フサエさん

生活習慣病などを予防し健康に過ごすために、1日に350g以上の野菜を食べることが推奨されています。南丹市で野菜を1日350g以上摂取している人の割合は44・7%※と、平均するとあと1皿分の野菜が足りていない状況です。子どもたちが考えた野菜たっぷりのレシピを家庭の食事に取り入れて健康に過ごしましょう。

※R3年食事診断・食習慣アンケート結果より

問い合わせ先

南丹市食育推進委員会

(事務局：保健医療課)

TEL(0771)68-0016

南丹市健康・食育レシピコンテスト入賞作品紹介 野菜や米を使ったレシピ



←レシピは南丹市ホームページをご覧ください



南丹市食生活改善推進員 協議会長賞
「夏野菜たっぷり!ピザ風ふわふわお好み焼き」
南丹市立園部中学校 1年
西岡 悠里さん



南丹市健康まじゅくり推進 協議会長賞
「まごわやさしい健康サラダ」
南丹市立八木中学校 1年
浅田 悠一郎さん



保育所給食賞
「野菜たっぷりフワフワとり団子スープ」
南丹市立園部中学校 1年
早苗 春香さん



入選
「夏野菜ピーマンとオクラのカレーピラフ」
南丹市立園部第二小学校 5年
澤谷 日菜さん



入選
「夏野菜のしょうが焼きパスタ」
南丹市立園部中学校 1年
山本 茅雪さん



入選
「豚汁キムチ」
南丹市立園部中学校 2年
大槻 さくらさん

いきいき南丹

-115-

南丹市健幸都市宣言を行いました

～住んでいるだけで健康で幸せなまちづくり～

市では、住民一人ひとりが生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまちを目指し、生涯にわたる健康づくり「なんたん健幸都市プロジェクト」を展開し、「なんたん健幸ポイント」を事業のハブとして、健幸まちづくりを推進しています。

この度、南丹市健幸まちづくり推進協議会(木村 茂会長)から市へ、健幸都市宣言をすることについて提言を受け、3月末に、市として宣言を行いました。

この宣言が、住民の皆様一人ひとりの心に届くことで、毎日の暮らしの中で健康を意識し、誰もが豊かで幸せな人生が送れるように願っています。



▲左から、西村市長、木村会長、伊藤副会長

問い合わせ先 保健医療課
TEL(0771)68-0016

なんたん 健幸ポイント 2023

- ・募集締切 5月31日(水)
- ・対象：18歳以上で市内在住・在学、在勤の方
- ※継続参加の方は申込みの必要はありません。
- ・参加費：1,000円/年
- ・募集人数：1,000名

★詳しくは、4/14発行のお知らせ版、市ホームページにて

南丹市健幸都市宣言

～住んでいるだけで健康で幸せになれるまち、
南丹市に暮らすわたしたちの物語～

かけがえのない人と
自然の恵みを味わうとき
季節の中を歩むとき
温かい話にほほ笑むとき
今日も素敵なおとときを大事にする

わたしたちが
笑顔であるように
健やかであるように
心から大切な誰かを想い、ともに生きる日々を楽しむ

深い歴史と文化、豊かな緑に遊び
健康で幸せであるように明日を紡ぎ
わたしたちは健幸のまち「なんたん」に生きる

「つながる」を大切に

会本部の児童が、寸劇で取組の紹介をしました。前期人権旬間では、「自分を知ろう・友達とつながろう」と題して、自分紹介カードを作り、自分のいいところや今頑張っているところをカードに書き掲示しました。後期人権旬間では、「思いやりの気持ち大切に、心をつなげよう」を合い言葉に、友だちの頑張りやいいところを見つけてメッセージを書き、「いいね」の花がいっぱい咲いた学年の花束ができました。このような取組を通して、子ども達は、自分では気づいていない新たな自分のよさを発見したり、大人ではなく、身近な友達から認められる経験を通して、友達が見てくれているという安心感や喜びを感じたりすることができました。また、人権旬間だけの取組で終わるのではなく、毎日の終わりの会を使って友達の優しい言動や

胡 麻郷小学校では、年に二回校内人権旬間を設けて、人権意識を高める取組を行っています。合わせて「なかよしアンケート」を実施し、今の自分を客観視する機会を設け、自分を知る時間を大切にしています。

子 ども達は日々、様々な感情を抱えながら学校にやってきました。子ども達の变化する心や姿にしっかりと目を向け、「自分は大切な存在である」という自尊心や自己肯定感を養っていきけるような、胡麻郷小学校でありたいと考えています。

令和4年度
南丹市立胡麻郷小学校
人権教育主任 高澤 佳代



ふ・れ・あ・い



ピクトグラム
情報や注意を示すための絵文字

—第60回—

誰にもやさしい世の中に

先日、ヘルマンハーブの演奏を聴く機会がありました。美しい音色にうっとりしました。演奏者は誰でも簡単に演奏できますと紹介されました。

ヘルマンハーブはドイツのヘルマンさんが、ダウン症の息子に「メロディーを自分で演奏することのできる楽器を与えたい」と願って開発したハンドメイドの弦楽器です。ヘルマンハーブの噂は口コミで広がり、障がい者も健常者も、また、音楽経験の有無を越えて、誰もが共に演奏を楽しめる世界が誕生しました。

ここで思い出されるのがユニバーサルデザインの考え方です。ユニバーサルとは「普遍的な」という意味で、日本語に言い換えると「みんなにやさし

いデザイン」という意味です。よく混同されるのがバリアフリーです。バリアフリーとは、「障壁(バリア)によって制限を受ける一部の人のために障壁を後から取り除く」ことで、「初めからすべての人が利用しやすいようにデザインする」ユニバーサルデザインとは異なる意味を持ちます。

身近な所に目を向けると、シャンプーやリンスのボトルの側面にある凹凸は、指で触れることで区別できます。レバーハンドル式のドアや水道のレバーは、握って回すタイプと比べて身体への負担が少なくなっています。ピクトグラムは、日本語が理解できない外国の方等も見ただけで意味が理解できます。他にも多くの所で普及しています。

暮らしやすい街や道具は、さらに日常の利便性を高めてくれるでしょう。それと同時に、私たちも常に相手の立場や視点に立って物事を考えていく意識を持ちたいものです。そうすることが本当に誰にもやさしい世の中につながっていくことになると思います。

(人権政策課)

南丹市立図書館

中央図書館 TEL(0771)68-0080
八木図書室・日吉図書室・美山図書室
(休館日:毎週月曜日・祝日)

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/nantan/>

図書館へようこそ!

No.100



イメージキャラクター「なびっと」

大型紙芝居の舞台を貸出しています。

図書館では、大型紙芝居や絵本を置いてあります。保育園などで読み聞かせをする方に貸出もしており、大型紙芝居や絵本を読む時に使う舞台やラックも一緒に貸出をしています。

大型紙芝居の舞台は中央図書館と日吉図書室に、大型絵本のラックは中央図書館に置

いています。その他に、通常サイズの紙芝居の舞台は各館に置いています。

また、お話会で使えるエプロンシアターやパネルシアターもあります。

催しの時等にご利用の際は、気軽に職員にお声掛けください。

新刊紹介



『すきを生きる』

天心らんまんに

壁を乗り越えて

著…牧野 富太郎
発行…興陽館



好きなことだけをして生きていく。いくつもの壁を乗り越えて、植物を愛した植物学者の牧野富太郎が書き続けたエッセイ集です。

『チビのおねがい』

作…室井 滋

絵…カワダ コニコ
発行…福音館書店



ねこのチビと女の子のチヨコちゃんはいつも一緒。人間でいえば100歳のチビは鏡の世界から「そろそろこっちへ」と呼ばれ、チヨコちゃんを悲しませないため自分と似たねこをさがしはじめます。

暮らした

ホッと

—第85回—
消費生活情報

賃貸アパート退去時の原状回復のトラブルに注意!

事例 家賃6万5千円で2年間住んだ築30年のアパートを退去した。管理会社から、壁クロス張り替え代、床工事費、ハウスクリーニング代、エアコン洗浄費など約17万円の原状回復費用を請求された。ハウスクリーニング代とエアコン洗浄費は契約書に記載があるので払うが、壁や床は汚していないし、壁のクロスは入居時につぎはぎだらけだった。支払いたくない。(当事者：学生)



(独)国民生活センター「子どもサポート情報」から

て付いた傷などの修繕費用は、借主が負担する必要はないとされています。

●納得できない費用を請求された場合は、国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」を参考に、貸主側に説明を求め、話し合みましょう。

●退去時だけでなく入居時も、貸主と一緒に部屋の状態を確認し、確認内容をメモしたり、傷や汚れの写真を撮ったりして記録に残しましょう。

●契約する際は、契約内容や特約などをよく確認しましょう。

●困ったときは、消費生活相談窓口にご相談ください。

一人で悩まずにご相談ください

●商品やサービス購入でお困りごと、不審に思うことがあります。したら迷わずにご相談ください。

★ひとこと助言★

●賃貸アパート退去時のトラブル相談が寄せられています。

●賃貸アパートを退去する際の原状回復については、年月の経過による変化や普通に使っ

お気軽にご相談ください

- 消費者ホットライン
Tel 188(いややー)
 - 南丹市消費生活相談窓口
Tel (0771)68-0100
 - 京丹波町消費生活相談窓口
Tel (0771)82-3803
- 月曜・火曜・金曜(祝日は休み)
午前9時～午後4時
水曜・木曜(祝日は休み)
午前9時30分～午後4時

(商工課)

堰水好日

えんすい
こうじつ

市長
コラム

情熱と確固たる信念で生まれ、大きな成果を上げてきた美山の山村留学が閉所式を迎え、四半世紀にわたる事業に幕が下りた。急激な少子高齢化により衰退する美山町知井地区の活性化と知井小学校の児童数減少による複式学級編成を回避するため、行政と学校、地域住民が力を結集して平成10年にスタートした取り組みである。

山村留学は、概ね3年生から6年生の児童5名から10名が親元を離れ寮(山村留学センター「四季の里」)で集団生活を送り、日中は知井小学校(廃校後は美山小学校)へ通学する。子ども達は主に京阪神の都市部から集まるが、遠くは福島、新潟や鹿児島からも。募集には並々ならぬ苦労があったと聞く。ボランティアの里親が地域に存在し、週1泊の留学生ホームステイも受け入れている。

日々の運営は指導員と寮母さんが当たるが、地元で運営委員会が組織され、知井振興会や自治会、PTAなどあらゆる組織が事業を支える。特に澤田運営委員長、澤田寮母さんのご夫婦は指導員の仕事以外のすべての世話を引き受け、実に25年間休むことなく山村留学に献身された。お二人の存在がなければ長き

にわたり安定した運営はできなかつたといえる。実に頭が下がる。

山村と都市との子どもの交流は双方に活気を与え、同時に、留学生O Bや保護者との交流も生まれ、地域にも良い刺激を与えてきた。また山里の山河での遊びや農作業など労働体験は延べ182人の留学生達の人格陶冶にこの上ない実りをもたらした。

教育学者村田翼夫氏や同山口満氏(美山町出身)、同長野光孝氏(知井在住)他により執筆され、今年1月出版された『過疎地の特性を生かす創造的教育』に山村留学の特色や意義について記述がある。「忍耐力、社会力、自立心が身につく。まさに自己中心、甘えの気持ちを克服し『自然に触れつつ思考力、問題解決力を培う』ことができた」と述べている。

これらの評価は山村留学事業がまさに我々が待ち望んでいる今日の人間性荒廃社会の課題解決法の一つであることを示している。取り組みが各地で拡大することを願うが、残念ながら全国的に減少している。不登校児童増加の中、フリースクールの役割が大きくなってきている。同様に日本の教育改革の観点から農山村体験教育の制度創造の必要性を痛感する。



▲庭のキバナセツブンソウ

南丹市長 西村 良平

編集後記

春の暖かな陽気となりました。新年度が始まり、新たな学校や職場に期待と不安がないまぜになつていないでしょうか。

そんな私も、四月から新しく入庁したばかりの、新人職員です。これから、広報として南丹市の魅力をどんどん発信して参りたいと思います。南丹市とともに成長していきたいです。今年にしていきたいです。今後とも変わらぬご愛顧よろしくお願い申し上げます。



●総人口：30,242人(-118)
(男：14,705人・女：15,537人)
(-77) (-41)
●世帯数：14,269世帯(-35)
(令和5年4月1日現在)
()内は前月比



市の花 さくら



市の木 ふな



市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと 南丹市

なんたんし

広報
なんたん

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。